

50年前、はじまりはプラネタリウム— Planetarium

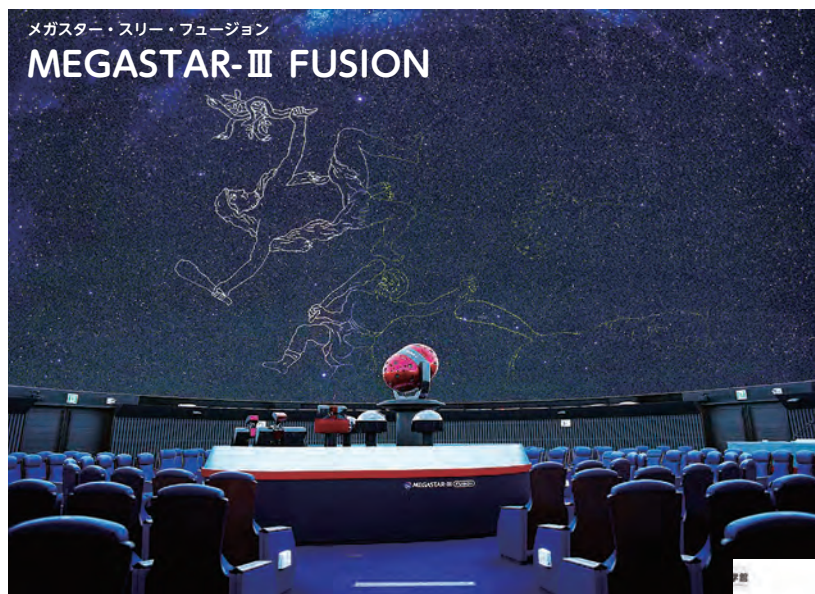


1971年夏、プラネタリウム館誕生

1971年8月15日、プラネタリウム館の開館が始まった青少年科学館。初期は直径16mのドームに4500個の星を映し出すもの。そこからプラネタリウムの進化とともに歴史を刻んできた。

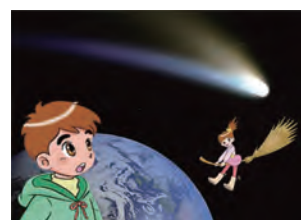


2012年、「世界に一台のプラネタリウム」導入 新型メガスターが映す本物の夜空



いま、科学館にあるのは世界最高の星空と言われている「MEGASTAR」の最新機種。科学館のために新しく開発された次世代型の特別仕様機で、肉眼では見えない星までも映し出す。

これまでの「MEGASTAR」の星空の美しさに加えて、星空のリアルさ、自然さを追求。精密な星の明るさの差や、色をより忠実に再現している。



子ども向け投影

メガスターを開発した人は…

川崎市出身 大平 貴之さん
(有限会社大平技研)



小学生のころからプラネタリウムを自作。大学時代、アマチュアでは例のないレンズ投影式プラネタリウム「アストロライナー」の開発に成功した。就職後も製作を続け、1998年に「アストロライナー2」を国際プラネタリウム協会ロンドン大会で発表。これまでの100倍以上にあたる150万個の星を映し出すことで話題になった。2004年には子どものころから通った原点ともいえる川崎市青少年科学館で初のMEGASTAR-II常設投影を開始した。



おうちで
プラネタリウム



プラネタリウムワークショップ

★ 星空を体感しよう！

★ 一般向け投影

毎月変わるテーマを45分間「生」で解説



毎月変わる科学館のオリジナル番組を、そのときに観察できる天文現象の紹介とともに専任の解説員が生解説。「MEGASTAR-III FUSION」で世界最高クラスの星空を！

川崎から
宇宙へ！



★ 子ども向け投影

生解説+オリジナルアニメーション番組の子ども向け投影(幼稚園から小学校低学年向け)



★ フュージョン投影

前半は星空解説、後半はメガスターの機能を最大限に生かしたフュージョン投影番組「宇宙の姿を求める旅」で宇宙の仕組みを解く



「フュージョン」
って？

デジタル式投影機と光学式投影機を組み合わせることにより、精緻な星空に加え、風景にとけこむ自然な星空をリアルに再現！

解説歴60年！

星空の案内人
河原 郁夫さん

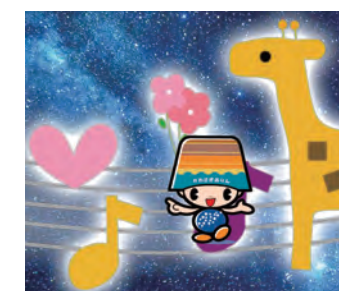


1956年にプラネタリウム解説員としてデビューして以来、60年以上の長きにわたりプラネタリウムの企画・制作・投影・解説・後進の指導に従事。89歳のいまも現役の「プラネタリウム弁士」として月に1度、プラネタリウムの人気番組「星空ゆうゆう散歩」を担当。そのゆったりとした優しい語り口で、訪れた天文ファンを星空の世界へ誘う。



★ ベビー&キッズアワー

乳幼児(4歳くらいまで)と保護者向け親子で一緒に楽しめる



プラネタリウム info

投影開始時刻	1回目	2回目	3回目	4回目
火曜～金曜日	学校向け学習投影 (一般の方の入場はできません)		13:30 一般向け 水曜・第1木曜のみ	15:00 一般向け
土・日・祝日	10:30 子ども向け	12:00 一般向け	13:30 子ども向け	15:00 一般向け

チケットは当日朝9:30から販売開始

一般	400円
高校・大学生・65歳以上	200円
中学生以下	無料